

日本学生オリエンテーリング選手権大会スプリント種目部門実験大会 要綱
(略称：インカレスプリント／実験大会)

テーマ：競技スポーツとしてオリエンテーリングでの世界最高の舞台である世界選手権（WOC）に日本から出場できる選手枠に従来とは大幅な変更が成された。オリエンテーリングは欧州が本場で日本は中堅国（やや下層）しかしアジア圏ではトップリーダーの役割を期待されているが、実質上ロングとミドルは国代表の1名のみ、代表を複数（3名）送り込める種目はスプリント種目のみとなった。他にリレー競技でも複数の選手は送り込める。しかしわが国において今までのスプリントの取組は他の競技のついでに、という扱いであり、インカレにおいても4年前に競技規則提示までしておきながら、組織決定としてインカレスプリントの開催を否決した歴史もある。否決した理由は、そこまでモチベーションがない、マーケット（≒採算性）がない、というものであった。しかし世界の（WOCの）この体制変更は、大方の若い選手の供給元である日本学連として、正規のキャリアアップの仕組みをいまだ持っていないというのは、いわば不作為の組織責任であるといえ、正統な仕組みの創出は急務である。そこで、過去の否決の理由を今一度洗い直し、どのような形でやっていけばモチベーションが保て、また持続可能な方法であるのか実験イベントを行うことを日本学連幹事会で提案し、総会で説明を行った。

実験イベントはこれ1回のつもりで、次回は本大会としての稼動を考えている。それには3月の総会での決議が必要であるが、他のインカレ種目と同様インカレである以上、学連に関わるものはお客さんでなく、自分達も「主催者」である理念が必要である。この実験大会は“実験”であり、できること・無理無茶なことを見極める場でもある。提案者周辺のマンパワーも極めて限られた中での実験になる。その上で、**must**なことをしっかりと認識し、どういうことならやっていけるのかを皆で考える場にしたい。

(提案責任者：日本学連副会長 山川克則)

大会名：日本学生オリエンテーリング選手権大会スプリント種目部門実験大会
(略称：インカレスプリント実験大会)

主催：日本学生オリエンテーリング連盟

開催日：2014年3月7日（金）春インカレモデルイベント、開会式、協賛トレイルと同じ日

場所：栃木県矢板市内（春インカレ要綱3と同時に発表）

クラス：男子選手権（ME）と女子選手権（WE）のみ

設定優勝時間：12分

出場選手数：ME 30名、WE 15名程度

選手選考方法：自己推薦による、無理な日程をやりくりしての開催なので有力選手であっても参加強制はしない。あくまでも自らの希望によつての参加となる。（不参加であっても非難とかはしないが、どのようなやり方が最適なのか、日本学連の構成員のひとりとしてよく考え、その考えを伝えて欲しい）

上記人数をなるべく選考委員が調整して決定する。自己推薦に当たっては、過去1年以内のスプリントイベントにおける最高クラス（コース）の実績を申告する。JOA公認・非公認の種別は問わなく、何らかの形でwebに成績が公開されているものを申告する。選考に当たっては以下をガイドラインとする。

- ・ 最高クラス（コース）の全参加者数に対して上位 1/10 に一度でも入れば資格ありとする。
- ・ 1/10 では想定出場人数に満たない、あるいは過剰となる場合は、1/a の a の値を男女それぞれに前後させて再選考を行う。
- ・ 同一基準で人数を絞りきれない場合は、1/a に入った回数とか、他に同じ大学の選手がいないことを優先選考事項とする。

選考委員（予定を含む）：山川克則、大西康平、石澤俊崇、山上大智、海老成直

参加費：無料 大会開催予算は日本学連幹事会決済可能枠で執行し、不足分は賞品とともに協賛会社から支弁して行う。

協賛：（有）ヤマカワオーエンタープライズ 他に追加予定

申込方法：所定のフォーマットで 2/9 のイベント会場（山リハ）にて出場希望本人が直接書面で山川まで提出する。2/9 のイベントに参加できない場合は、メールでの提出も可とする。

優勝賞品：O シューズ（いわゆる“ヒモ付き”ではありません。自分の好きなOシューズ（もしくはランシューズ）を好きなメーカー・代理店から買うスポンサーとなります。（写真だけ撮らせていただきますが、それ以上の duty は求めません）2 位～6 位にも何らかのオリエンテーリンググッズ（順位により 8000 円＞2000 円相当品）を進呈します。）＋優勝者には以降 2 年間の YMOE 社が行う個人種目のイベントの参加費を免除します。

大会の流れ（3 月 7 日）＜予定＞

協賛トレイル・モデルイベント 8:30～12:00（受付終了：11:00）

インカレスプリント出場選手隔離（特殊コース設定） 12:00～12:30

スプリント競技 12:30～13:30

春インカレ開会式および関連イベント 14:30～17:00

スプリント競技について

- ・ スタート間隔は 1 分毎、ME から先に競技し、ME の最終ランナーの 3～5 分後から WE のスタートが始まります。
- ・ 今回提供するものは、純なスプリント競技であり、パーク O とは少し違います。常設の構造物や臨時に設営した通過禁止の特徴物を厳しいルールを遵守しながら超高速で方向感覚とルートチョイスを問う競技となります。厳しいルールに対しては、衆人環視の目があるということで、遵守を厳格に問います。＜参考文献：全日本スプリント http://shigaorien.nomaki.jp/me_analysis.pdf>

地図：縮尺 1:4,000 等高線間隔 2m 走行可能度 4 段階＋通行禁止の濃い緑

前走：谷川友太、松澤俊行、田島利佳各氏を予定

演出：1 時間のスポーツライブショーのつもりで全体を構成します。但し実験イベントであり、マンパワーも限られていますので、やれることに限度があることはお許し下さい。また、解説付き観戦ガイド（無料）を配布しますので各所での肝となる競技ポイントを観戦と同時に、選手がルール遵守で競技を行っているか監視していただきたいと考えています。また、本競技立ち上げに向けてできること、できないこと、やったほうがよいことなど見極めの場として今後の議論に積極的に参加して下さい。

展望：インカレスプリントの本競技立ち上げを、3/10 の総会で話し合っ、10/11 福井でのインカレロングの前日に行いたいと考えています。過去にインカレスプリント単独での遠征はできないという議論もありましたので、ロング前日開催が良いのか、ミドル前日開催が良いのかは、後の議論に委ねたいと考えていますが、組織としての仕組みの創出は急務であるという認識で日本学連加盟員つまり主催者である、という意識で考えていただきたいと思います。また、モチベーションアップのために当面他の種目より豪華な賞品提供をつづけていけるべく、スポンサー企業の獲得をめざしたいと考えています。